

かんまき  
社協だより

第2号

発行者  
上牧町社会福祉協議会  
〒639-0214 上牧町上牧 3245-1  
(上牧町保健福祉センター内)  
TEL 0745-76-6098



会員交流会 \*大阪長居公園にて\*  
(こまどりの会)

共同募金活動始まる

今年も10月1日より、「あなたのまちの幸せのために」をスローガンに共同募金運動がスタートしました。  
今年の目標額は、奈良県が一三五、三五八、〇〇〇円で、上牧町は一、二八四、〇〇〇円です。  
目標額の達成にむけて、上牧町でも10月1日と7日には、ダイエー・万代の両店舗にご協力いただき、店舗前にて街頭募金活動を行いました。  
また、各自治会にもご協力いただき個別募金をお願いしています。  
みなさまよりいただいた募金は、いったん県の共同募金会へ送り、それから県内の福祉施設などへ配分され、活用されます。共同募金は、福祉のまちづく



りのための民間財源として、大きな役割を果たしています。みなさまのあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

配食スタッフ募集!



上牧町社会福祉協議会では、毎週木曜日に一食三〇〇円で給食サービスを実施しています。栄養士の方にバランスのとれた献立表を作っていただき、調理と配達には町内のボランティアの方に協力していただいています。  
本年度より、利用者も増え給食サービス事業は充実してきま

したが、配達していただくボランティアの方が不足している状態です。

そこで社会福祉協議会では、毎週木曜日、地域の一人暮らしの高齢者の方、高齢者夫婦の方々に給食を配達していただけるボランティアスタッフを募集しています。  
ご協力いただける方は、左記までご連絡いただけますようお願いいたします。

上牧町社会福祉協議会  
担当 森本  
TEL 76-6098

◆お詫び◆  
前号の「社協だより」3ページの「上牧町ボランティア連絡協議会加盟団体一覧」の中であかね会代表の吉島さんのお名前に誤りがありました。  
正しくは、吉島満智子さんです。謹んでお詫び申し上げます。

# ボランティアのページ

今回より毎号、上牧町ボランティア連絡協議会に加盟しているボランティアさんの活動を紹介していきます。

## あかね会

代表 吉島満智子

平成9年10月、服部記念病院内、郁慈苑において喫茶のお手伝いを要請され20名ならずで発足いたしました。平成11年10月より庭園内に喫茶店「ハッピー」が開店しましたので、さらに要請を受けてスタッフを増員いたしました。

活動は、月曜日と木曜日の午後1時30分から3時30分です。後かたづけで4時近くになることもあります。郁慈苑と「ハッピー」では同じ喫茶のお手伝いでも少し異なります。ハッピーには寮母さんが付き添って比較



的元気な方が来られます。郁慈苑の方は苑内ですので少し痴呆の方が多いですが、苑内に住んでいる方々は、私たちの両親と同じくらいの年齢です。年をとることの感じ方は私たちとずいぶん違いますが、喫茶という交流を通して、大切な人生の勉強を今させていただいているというふうに思っています。

現在、会員は42名です。お手伝い下さる方はいつでも大歓迎します。

## 子育て支援

代表 堀内 敏子

### ・上牧子育て支援の発足

子育て電話相談に携わる中で核家族、少子化に伴い近くに相談する人もなく、まだまだ子育てに対する負担が母親に集中していることから「一人で悩みを抱え込んでしまう」お母さんが多いことを知りました。2月に二〇〇〇年会館で子育てパネルを展示し、関心を持たれたのを機に平成13年4月に発足しました。

### ・地域活動の推進

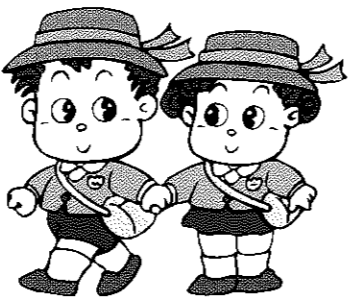
現在、園児と在宅園児との交流(第一保育所)に加わり共に楽しんだり、話し合ったり相談をしながら子育て支援をしています。離乳教室など、お母さんの研修の場にも託児の支援をしていきたいと思っています。今、乳幼児期が一番大事だといわれています。お母さんの心にもゆとりが大切だと思います。子育てを温かい目で見守り地域ぐるみ

で支援することが出来ればと思います。少しずつ活動範囲も広がっていきたく思っています。子育て支援、ご協力下さる方お待ちしております。

### ・子育て支援 思いのまま

泣いた、怒った、反抗する、散らかす、食べない、夜泣きする、あ、笑った。毎日毎日、子どもとの葛藤にお母さんはいへんね。育児書のように出来ないね。こんなことの繰り返し、子どもは成長、親は親になっていくのね。人を愛し、信頼し、人間関係を広げていくのね。心の健康を維持する一番の栄養は、お父さん、お母さんのすばらしい笑顔です。子どもの自我の芽生えを大切に。育児は我慢我慢の連続、叱り上手、褒め上手、背伸びし深呼吸して、「早く早く」とせかささない。「できたね」と、お母さん子どもをぐっと抱きしめて折に触れ太陽とも元気に遊び、子どもの成長を見守って下さいね。豊かに、ゆ

ったり、お気楽にと、子育てを支援し、共に勉強をしていきたいと思っています。



## こまどりの会

代表 大山 節子

私たち「こまどりの会」は、在宅介護者の援助及び介護講習会等の活動をしています。私たちのグループには年齢が80・90代の介護をしてらっしゃる方が7人おられます。その介護もしながらボランティアもし、介護の勉強もしています。一人一人が責任をもって学習しています。私たちの活動には、二つのポイントがあります。料理やデザートを作り、コーヒーをたて



るチーム、またお茶をたてるチーム等、皆が自分でできるチームを持ちお世話するということ。次に、お年寄りと一緒に昼ご飯をいただきますながら、仲良く笑顔で語り合うことです。今年10周年を迎えたので、去る9月5日にこまどり会全員で元気よくカラオケの会を開きました。91歳のおばあちゃんと84歳のおじいちゃんの笑顔で楽しい日を過ごすことができ、いい記念となりました。一度、遊びに来て下さい。お待ちしております。

## 手話サークル「虹」

代表 山崎由紀子

手話サークル「虹」は、平成7年度の手話初級講習会の受講者が「終了後も手話の勉強を続けたい」との思いから生まれたサークルで、今年の10月には7年目を迎えます。

会員は10代〜70代まで幅広く主に学生(小学生も含む)や仕事を持った人など、昼間にサークル活動ができない人たちが多く集まっています。普段はテキスト等を中心にした学習や、手話コーラス、手話劇などここに学びたいものを持ち込んで活動を行っています。

また、ろうあ者、会員相互のコミュニケーションを図り理解を深めるために、ボウリング大会やバーベキュー、クリスマス会などの行事を行い、その中でテキストにはない日常の手話表現を学んでいます。サークルの名前「虹」は、ろ

うあ者の方と手話で心を通わせることができる架け橋になれたら、との思いからつけました。これからも出来るだけ多くの人を手話に興味を持ち、誰もが普通に手話を話せる社会になれるように、活動を続けていきたいと思っています。

普段は二〇〇〇年会館において(ほぼ)毎週土曜日夜7時〜8時まで、ボランティアルームで活動しています。手話に興味のある方や、学んでみたいと思ひの方は一度気軽に足を運んでみて下さい。

